

# 平成27年度「事業化を加速する産学連携支援事業」評価委員会議事録

平成28年3月23日

研究推進課

## 1 開催経緯

事業化を加速する産学連携支援事業について、農林水産省の外部の機関への委託事業として実施したため、事業化を加速する産学連携支援事業に係る委託事業評価要領(平成22年4月1日付け21農会第1165号農林水産技術会議事務局長通知。(以下、「評価要領」という。))に従い、事業化を加速する産学連携支援事業評価委員会(以下、「評価委員会」という。)を設置し、事業の評価を実施した。

## 2 評価委員会の開催形式

平成27年度の評価委員会は、平成28年3月23日(水)に農林水産省内で開催した。

評価に当たっては、評価対象である以下の委託事業について、当該年度の事業実施計画及び事業実施状況等についてヒアリング、質疑応答を行った上で評価要領に従い評価を行った。

評価対象委託事業

事業化を加速する産学連携支援事業

事業実施期間：平成26年度～平成27年度

受託者：公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

## 3 評価委員の構成及び座長の選任

平成27年度の評価委員は以下6名で構成した。

NDS総研株式会社

取締役 宮森 博康

国立大学法人和歌山大学 産学連携・研究支援センター

教授 湯崎 真梨子

国立大学法人東京農工大学 イノベーション推進機構

教授 千葉 一裕

国立大学法人東京海洋大学 海洋科学部

学部長 木村 凡

国立研究開発法人科学技術振興機構 産学連携展開部

調査役 齋藤 仁夫

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携室 室長 田中 健一

委員の互選の結果、田中委員が座長に選任された。

## 4 議事

- (1) 冒頭、座長の指示により、研究推進課事業担当より、「事業化を加速する産学連携支援事業」の概要及び評価方法について説明を行った。
- (2) その後、地域産学連携コンソーシアム(代表機関である公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会)より、平成27年度事業化を加速する産学連携支援事業の実施状況について報告があり、報告内容について質疑応答を行った。報告者退席後、各評価委員が審査表により採点を行い、結果を集計した。

- (3) 集計の結果を座長より委員に報告し、委員会としての評価結果を取りまとめるとともに、総括的な議論を行った。

## 5 評価結果

- (1) 各委員の評価結果をとりまとめたところ、総合的な結果は以下の通り。

「事業化を加速する産学連携支援事業」

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| ア 委託事業の目標の達成度等      | (A : 高い)              |
| イ 委託事業が社会・経済等に及ぼす影響 | (A : 高い)              |
| ウ 委託事業の推進方法の妥当性     | (A : 高い)              |
| エ 委託事業の実施体制の妥当性     | (A : 高い)              |
| オ 総括評価              | (A : 事業は概ね目的を達成している。) |

- (2) 助言等の内容

( 5 (1)ア「委託事業の目標の達成度等」及びウ「委託事業の推進方法の妥当性」に「B : やや低い」と評価した委員1名の助言等 (評価にB「やや低い」及びC「低い」を選択した場合は、助言等を記入。) )

活動が各コーディネータのスキル頼りになっている印象であり、事務局が全体をコントロール、把握し、活動に対する資源配分 (コーディネータ配分) をきちんと行う必要があるのではないか。現状では、全体コントロールできているとはいえない。

- (3) その他の議事

総括的な議論を含め、各評価委員よりコメントが寄せられた。